

① 麦茶  
② 気晴らし  
③ 汽車

④ 万一  
⑤ 色紙

2  
1 A エ  
B ウ  
C ア

2 ゴ  
る  
3 芝生の広場

4 四字 身分  
十六字 どの

5 世界  
6 1

3  
1 女の子のかけっこ

2 あすか  
3 A ウ  
B イ

4 ③ エ  
④ イ

5 女の子の気持ち

6 イ  
7 イ

配点	
①	各2点 × 5 = 10点
②~③	各5点 × 18 = 90点
<計> 100点	

1 小学校2年生までに学習した漢字から出題している。①は「麦」「茶」ともに字形に気をつけて書くようにしよう。②「気晴らし」とは「うっとうしい気分を晴らすこと」という意味である。③「汽」を「気」と書いてはいけない。また七画目の最後の形に気をつけよう。④「万一」とは「めつたにないが、ごくまれにあること」である。⑤の「色紙」は「しきし」のほかに「いろがみ」という読みもある。それぞれ意味がちがうのできちんと使い分けよう。また「紙」の字形にも気をつけること。

2

1 A (A)の前に書かれていることの例を(A)のあとで書いているので、エ「たとえば」がはいる。  
 B (B)の前に書いていることは不自然なつながりの内容が(B)のあとに書かれているので、ウ「だけど」がはいる。  
 C (C)の前に書かれていることが(C)のあとに書かれていることの原因になっているので、ア「だから」がはいる。  
 2 「それ」が指しているのは「常識」だと見当をつけて、——線①の前から指定された字数に合うことばをさがすと、本文のはじめに「ゴミはゴミ箱に捨てる」が見つかる。  
 3 「こんな光景」は「お行儀が悪い」と思える光景なので、——線②の前から指定された条件に合うひとつづきの三文をさがす。  
 4 「カースト制」は「制度」なので「身分制度」は見つけやすい。そのあとに「同時に」とあるので、直後の「どの仕事は誰がやるという取り決め」であることもわかるだろう。  
 5 この文章は「ゴミはゴミ箱に捨てる」ということがインドでは常識ではないということ为例をあげて説明している。  
 6 インドではゴミを捨ったり集めたりする仕事をしている人がいるので、ゴミをゴミ箱に捨てることはその人たちから仕事を奪うことになり、怒られることがある。

3

1 「おれ」が学校に行きたくない理由を本文からさがす。「スカートまで着せられ」だからである。「おれ」が「こんなの、女の子のかわつこうだよ」ともんくを言っていることに注目しよう。  
 2 登場人物のよばれかたはひとつとは限らない。通読中に気をつけておいてほしい。本文中で「母ちゃん」が「大きいねえちゃん」に「あすか、それはいくらなんでもかわいそうよ」と話しかけていることに注目しよう。  
 3 A 「おれ」が「こんなの、女の子のかわつこうだよ」ともんくを言ったところ、「そうよ。だって、あんたに女の子のかわつこうをさせたんだもん」と悪びれずに答えていることから、ウ「いばってる」がはいる。  
 B 「女の子のかわつこう」をしている「おれ」に「まあ、かわいいわ」「スカートも似合うわね」と言っていることから、イ「よろこんでる」がはいる。  
 4 ③ 「女の子のかわつこう」をするかわりの条件が、誕生日プレゼントのクレヨンのうちピンクのクレヨンをせんぶ折ることであった。「おれ」の「ひどい」「あんまりだ」から、この条件が「おれ」にとっては受け入れがたいものだということがわかり、その条件について語る「大きいねえちゃん」の態度は、エ「ずるそう」だと考えられるだろう。  
 ④ 「全部のクレヨンをめちやくちやにするのは」だから、その中からピンクのクレヨンだけ、せんぶポキンポキンって折っちゃう(このことだけでも「おれ」にはつらいが)と罰をゆるくしているから、イ「かわいそう」がはいると考えられる。  
 5 「ピンクのクレヨン」を折るのも、「おれ」に「女の子のかわつこう」をさせるのも目的は同じである。本文の最後から五行目に「母ちゃん、すばるはね、昨日、川崎って子に、それよりもかわいそうなことをしたんだよ」とある。「おれ」に「女の子の気持ち」をわからせようとしているのである。  
 6 「おれ」に「かわいそうなこと」をされた女の子の何が折れたのかを考えればよい。罰として「女の子のかわつこう」をさせる、「ピンクのクレヨンをせんぶ折る」のは「おれ」に精神的な痛みを与えようとしているのである。  
 7 涙がでてくる様子をたとえたことばになる。